

全市区町村長アンケート

保険証廃止「延期を」4割超

マイナートラブル不安

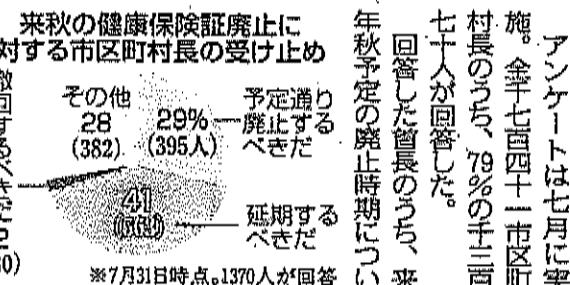
共同通信が全国の市區町村長に実施したアンケートで、現行の健康保険証を来年秋に廃止する政府方針に対し、四割超が延期を求めている。これが一日、分かった。予定通りの廃止を求めたのは三割弱だった。廃止はマイナバーカードに保険証機能を持たせる「マイナ保険証」への一本化に伴うもので、他人の個人情報とともに付けられるなどカードのトラブルが相次ぎ、住民の不安が高まっていることが影響した。=核心(3面)

政府は総理検査本部を設置し問題の確認を急いでいるが、野党だけでなく、自民党からも廃止時期の見直しを求める声が上がりしている。行政の現場を振り回す行政の現場を振り回す。行政の現場を振り回す。行政の現場を振り回す。

中、政府は対応を迫られそ

マイナ保険証 健康保険証の機能を備えたマイナバーカード。カード取得後、専用サイトなしで保険証として登録する」と使える。厚生労働省によると7月23日時点では534万人(カード取得者の約7割)が登録済み。患者が

同様すれば医師は薬の処方歴などを確認でき、政府は適切な治療につながると説明している。現行の保険証廃止後、カードを持っていない人もマイナ保険証の未登録者には、自治体や健康保険組合などが代わりとなる。「資格確認書」を発行する。



「**延期**」小浜、永平寺、南越前、美浜
県内では十七市町のうち、小浜、永平寺、南越前、美浜の四市町が「廃止を延期するべきだ」と回答。敦賀、勝山、あわら、高浜の四市町が「予定通り廃止すべきだ」と答えた。廃止時期の見解を尋ねたところ、「予定通りに廃止すべきだ」と答えたのは29%。「廃止を延期するべきだ」が41%。「廃止を撤回するべきだ」との答えも2%あった。28%は「その他」と回答。廃止時期への見解は示さず、「国民の理解を得てからにすべきだ」(山形県東根市)など不安払拭の優先を訴える意見が多い。「総点検の結果を踏まえ判断すべきと考えてる」(富崎県都城市)との声もある。

大野、鯖江、越前市、池田、越前町の五市町は未回答。

かつたのは四市町。福井市は「法律に基づき、国の指導により準備を進めていく」と回答。坂井市は「廃止するべきだ」と回答。敦賀、勝山、あわら、高浜の四市町が「予定通り廃止すべきだ」と答えた。

予定通り 敦賀、勝山、あわら、高浜

廃止時期の見解を尋ねた